

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和3年度 第8号
令和4年1月25日発行
＜発行・編集＞
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
(上越市立直江津東中学校内)
TEL : 025-543-2729
FAX : 025-543-4150
E-mail : higashi-cs@jorne.or.jp

「キャリア教育共通取組」 小学5年マスコミ学習会

直東学園で、「キャリア教育」を中核とした生き方教育を推進して、7年目となりました。

今年度も、キャリア教育でねらう「育てたい資質・能力」を意識しつつ(右表)、各学校で工夫された取組を実践しています。各校の取組は、2ページ目以降をご覧ください。

キャリア教育は、新学習指導要領により特別活動に位置付けられましたが、全教育活動を通して実践するものです。行事だけでなく、係活動の仕事振りや、(生き方モデルとしての)日々の教師の一手一投足も全てがキャリア教育に通じています。以下は、直東学園で行っている共通取組です。

育てたい資質・能力

人間関係形成能力

自己理解・自己管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

郷土愛

小4 : 1 / 2 成人式

小5 : マスコミ学習会

中1 : ようこそ先輩

小1～中3 : 総合や特別活動の時間等でのキャリア教育の取組

中2 : 立志式 等々

今回はこれら共通取組のうち、**マスコミ学習会**の紹介をさせていただきます。

マスコミ学習会は、5年社会で学習する通信や放送の学習にも繋がります。通信や放送の第一線で活躍している現役記者さんやアナウンサーから話を聞くことを通して、仕事内容の理解や通信等の仕組み、仕事にかける思いを学びます。

今年度は、4小学校の5年生195人が、春日新田小学校に集まり、3密を避けるために、体育館を会場に行いました。講師としておいでくださったのが、以下のお2人です。

新潟日報社 上越支社
JCVケーブルビジョン

鷲頭 泰子 様
鶴見 幸恵 様

昨年はZoomによる開催でした。今年は、せっかく4小学校が集まる機会なので、交流する時間を設定しました。

隣同士が別な学校の児童で、隣の子と感想交流する形で、短時間ですが話し合う時間を設定しました。

1回目の鷲頭記者の後の感想交流ではぎこちなかった子どもたちも、2回目の鶴見アナの後は話しやすくなったようでした。より柔らかく、優しい表情で感想交流をする姿が見られ、微笑ましく思いました。

お一人30分の短い講演時間でしたがとても分かりやすい内容で、記者やアナウンサーの仕事内容、大切にしている思いが伝わり、学びが深まった時間でした。

キャリア・パスポートの取組も継続しています。一言メッセージなど、皆様からもご協力いただく部分があります。

引き続き、温かく子どもたちの成長を見守っていただきますよう、お願いいたします。



鶴見アナのお話を聞く5年生



他校の児童と緊張しながらの感想交流

北諏訪小学校の取組

【体験から学ぶ生活科、総合的な学習の時間】

感染症対策を講じながら、小規模校のメリットを生かし、身近な人とかかわりや体験を通じた学びを進めてきました。

自然や生き物と触れ合いながら、人とかかわり方を身に付けてきた1年生。野菜栽培を通じて、地域の人とかかわったり課題を解決したりしている2年生。地域や上越を探検し、地域の方々のあたたかさに触れ、郷土への愛着を深めてきた3年生。「ごみ」「水」「電気」に着目し、未来の暮らしを守るために自分たちができることを模索し実践してきた4年生。SDGsを切り口として、環境問題だけでなく、人権問題について当事者意識を持って考えてきた5年生。「出合い・ふれ合い・支え合い」をテーマに学校内外の人たちとかかわりを通して、成長した自分・なりたい私について見つめ続けた6年生。

子どもの意識に沿った活動を展開することで、自己を見つめ直したり地域のよさを再認識したりできました。

【がんばれ！石浦さん！ようこそ先輩】

東京パラリンピックに北諏訪小学校の先輩の石浦智美さんが出場し、3種目で入賞しました。2学期の始業式には、体育館でライブ中継を行い、全校で応援しました。パラリンピック後には、実際に学校でお話を聞くことができました。何度もパラリンピック出場に挑戦し、努力を積み重ねた末の出場だったことなどのお話から「自分も、いろいろな人に支えてもらっているなと思った。感謝の気持ちを伝えていきたい」「どんなに失敗してもプラスに考え、あきらめずに挑戦していきたい」など障がいの有無に関わらず、挑戦し、努力することの大切さを学ぶことができました。



保倉小学校の取組

子どもたちには、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方をしてほしいと考えています。この視点に立ち日々の教育活動を展開することこそが、キャリア教育を実践する姿だと考え、日々取り組んでいます。

【仲間との協働】

5年生は、「米づくり」に取り組みました。苗植え、水の管理、稲刈り、脱穀等を通して、1人では到底できないことも仲間と力を合わせれば、何とかできるということを感じました。活動を重ねるたびにチームとしてパワーアップする姿が随所に見られました。また、自分たちがお米を口にするまでに、たくさんの工程があり、たくさんの人の手がかかっていることを知りました。そして、農業に従事する方へ感謝するとともに、食べることができる喜びを感じていました。



【活動を広げる】

精米、試食まで終えた5年生は、自分たちの育てた米をどうするかを考えました。米会議を通して「お米のおいしさをたくさんの方に知ってほしい」という願いをもち、校外での販売という形で実現しました。

袋詰め、ラベル貼り、販売計画等、これまで育ててきた「仲間と力を合わせる力」を十分に発揮し、教師の力を借りることなく、準備をすることができました。

実際の販売活動では、初めて出会う人たちに、多少緊張しながらも、米のよさをアピールするなど、進んで声を掛け、人とかかわる姿が見られました。

このように体験活動により育つ力は計り知れません。だからこそ、体験活動を中核とし、子どもたちが自らの生き方を見付けられるよう、これからも子ども、保護者、地域とともに、日々の営みを充実させていきます。



有田小学校の取組

【低学年】～人間関係形成、自己管理～

1年生は、自然に親しみ、アサガオの栽培やヒツジの飼育をしました。自分から対象にかかわることや、生命を大切にすること、友達と一緒に協力するよさを学びました。2年生は、粘り強く工夫しながら野菜を育てました。また、地域の方に教えていただきながら仲間と活動する楽しさを学びました。



地域やJAの方から野菜のお世話の仕方を学びました。

【中学年】～共感性、情報活用～

3年生は、町探検を通して地域の「いいね」を発見する活動を行いました。発見した「いいね」をポスターなどにまとめ、地域のよさに気付くとともに、情報の収集と発信の仕方について学びました。4年生は、戸野目川の調べ学習を通して、身近な環境について学びました。地球環境学校の近くを流れる中ノ俣川と比べ、水質検査や生き物調査などから、発見や学びを新聞にまとめ、発信しました。

【高学年】～自己管理、協働性～

5年生は、稲作体験を通し、米づくりについて学んだり、農業の課題について考えたりしました。地域愛を育むと同時に、お米を販売する活動を通して、仲間と共に活動するよさを学びました。6年生は、様々な職種の方から働くことの意義や社会に出るために必要な力について学びました。また、ボッチャや車いす体験をし、福祉の意味やその大切さについて考えました。これらの活動により、これからの自分の生き方や将来に向けての夢を考えました。



美容師・保育士・テレビ局で働いている方など、様々な職種の方をお招きしました。

春日新田小学校の取組

これまでも取り組んできましたが、学校が落ち着き、充実した学校生活を送ることができている要因ともなる実践を紹介します。

【縦割り班（なかよし班）活動】

今年度は、入学後の1年生教室に6年生が入って朝の準備の手伝いをしたり、給食時に配膳をしたりと1年生と6年生のかかわりを行いました。6年生に下の学年を労る心が育まれたり、1年生に6年生を慕う気持ちが生まれたりしました。また、縦割り班の活動も充実しました。体力テストや遠足では、高学年が手本となり、下学年を支えるという姿が見られました。読み聞かせや絵画鑑賞会では、学年を超えた感想や気持ちの交流を行い、親和的な関係を育みました。こうした異年齢とのかかわりによって、自分を見つめる力を付けたり、集団での活動を通して、人とかかわる力を付けてしています。



【学級づくり】

学級で取り組む「かかわり方スキル」が、全校児童に定着しつつあります。これを推し進めるために、上教大赤坂研究室との連携は欠かせません。子どもたちは、授業の中で相手の話をうなずいて最後まで聞いたり、考えを分かろうとしたりしています。学習が深まると同時に、学級の仲間との関係性がよくなっていきました。こうした積み重ねが1年間続き、さらには6年間蓄積されます。人との関係を築きながら協働的な学びを実現させ、学校の充実につながっています。春新は、今後も全校体制でこうした力を児童に身に付けさせていきます。



直江津東中学校の取組

【ようこそ先輩（1年生の取組）】

卒業生 10 名の方から講師をしていただき、働くことの意義、楽しさや大変さなどを伝えていただきました。「今日の話聞いて、コミュニケーション能力が大切で、今からでも仕事に役立つことができることが分かりました」など、生徒の感想もたいへん前向きな内容が多かったです。



【立志式（2年生の取組）】

式の前半は、直東学園理事長 高橋邦夫様からご講演をいただきました。そして後半は、各クラス4つのグループに分かれ、「将来の夢」について一人一人が発表しました。

青少年育成会議会長 熊木敏夫様から立志



のバッジを受け取り、さらなる成長を目指す決意が感じられました。

【卒業生に話を聞く会（3年生の取組）】

高校2年生の卒業生をお招きし、“卒業生に話を聞く会”を行いました。今年は9人の高校生から来ていただき、「どんな受験勉強をしたのか」「今、何をがんばればよいのか」「高校生活はどんなものか」などの話を聞きました。高校生活を充実させるためには、やはり学習を一番に考えてがんばることが大切だということが分かりました。



お世話になってます m(_ _)m

直東学園ボランティアの皆さん

保倉小学校では、直東学園のボランティアの皆さんの力をお借りして、行事や活動を行っています。

○5年生自然教室



6月14日(月)
・15日(火)の両日、関山の妙高自然の家で5年生の自然教室を行いました。2日目

にオリエンテーリングを3班編成で行い、そのうちの1つの班をボランティアさんから見守っていただきました。

○校内マラソン記録会



10月1日(金)に、校内マラソン記録会を行いました。折り返し点などで、ボランティアさんから

安全を確保していただきました。

○2年生校外学習引率

12月10日(金)に、うみがたり見学と直江津ショッピングセンターでの買い物体験に行きました。買い物体験は、家の人から頼まれた物を買ってくる「おつかい」で、5班のうち、3つの班の見守りをしていただきました。



ボランティアの皆さんのおかげで、充実した活動が行えています。ありがとうございます

11月22日(月)

いじめ見逃しゼロスクール集会

今年も4小学校の6年生と東中の1年生が集まりました。各校のいじめ見逃しゼロアクションの発表を行い、その後いじめ見逃しゼロキャラバン隊のTSUNEIさんから講演をしていただきました。

